まちのわだい
masaki's town news

▼5月16日
松前町から交通事故をなくそう

春の全国交通安全運動の一つとして、伊予交通安全協会などの交通安全関係団体、伊予高校、伊予警察署、町は、エミフル MASAKI で交通安全啓発運動を実施しました。
交通安全関係団体は自転車の点検とタイヤライトや反射シールの装着を行い、伊予高校生は、声を掛けながら交通安全グッズを配布。買物客らに交通安全を呼び掛けていました。

▼5月13日
稚魚よ大きく育て

重信川右岸の出合橋のたもとで、アユの稚魚が放流されました。
この日放たれたのは高知県産の体長約 10 センチほどの稚アユ、約 6,000 匹。毎年この時期に、重信川漁協（本多義雄組合長）が放流しているものです。
その後、中川原のひょこたん池公園にも放流されました。

▼5月8日
徳丸の長寿者を祝う「尚歯会」

徳丸地区の「尚歯会」は、徳丸老人憩いの家で行われ、75 歳以上の長寿者 188 人のうち、64 人が出席しました。尚歯会とは、高齢者を敬う（敬老）会のことで、徳丸地区では大正 2 年に始められ、今年で 99 回目を迎えました。
参加者は、婦人会手づくりの料理を囲んでの会食、余興、友人とのおしゃべりを楽しみながら、楽しい時間を過ごしていました。

▼5月3日
北川原春祭り　子ども相撲大会

北川原の「春祭り」は、沖神社で開かれ、地元の子どもから大人まで大勢の人でにぎわいました。
神社では、朝から愛護部によるバザーやくじ引きなどがありました。毎年恒例の子ども相撲では、子どもたちのかわいい元気な取組に、見守る観客から大きな歓声や拍手が送られていました。
相撲の後には、小学 1 年生と中学 3 年生によるもち撒きも行われ、会場には笑顔があふれていました。

▼5月19日
大きなお芋が育つといいね

小富士保育所(重川千恵美所長、園児 70 人)園児は、伊予高校の女子生徒と一緒に芋づるを植えました。
太陽がサンサンと輝くこの日、園児たちは畦道に足をとられないようにお姉さんと手をつなぎながら畑へ。お姉さんに教えてもらいながら種芋を丁寧に植えました。「大きくなりますように」とたくさんお祈りをして、お水もたくさんあげました。「秋にお芋をとりにこようね」と仲良くなったお姉さんと約束していました。

▼5月15日
歩いて遊んで楽しい１日

松前町レクリエーション協会の「ウォークラリー2011」は、松前公園で開かれました。
この活動は、全国一斉あそびの日キャンペーンの一つとして行われたもので、幼児から大人まで 125 人が参加しました。
参加者たちは、グループに分かれ、目隠しウォークや句碑巡りをした後、けん玉などのゲームを楽しんでいました。

▼5月9日
こいのぼり集会

黒田保育所（谷口恵子所長、園児 65 人）のこいのぼり集会は、園庭で行われ、園児が祖父母と一緒に交流しました。
まず、園児たちは祖父母と一緒に手づくりのこいのぼりを作りました。できたこいのぼりはロープにくくりつけて記念撮影。その後は、こいのぼりのうたをうたったり、リレーをしたりして、楽しく交流を深めていました。

▼5月3日
今年も盛大に　松前港まつり

5月のさわやかな青空のもと、瀧姫神社周辺で、松前港祭りが開催されました。
鮮魚や鯛めしの販売、マグロの解体ショーなどが行われ、会場には大勢の家族連れが訪れました。
特設の水槽で行われた魚のつかみどりに参加した子どもたちは、ぬれることも気にせず、歓声をあげながらタイやヒラメなどを元気に追いかけていました。